

2 権利侵害の実態と相談・救済について

(1) 子どもの日常生活と権利侵害の実態

ア たたかれたり、なぐられたりすること

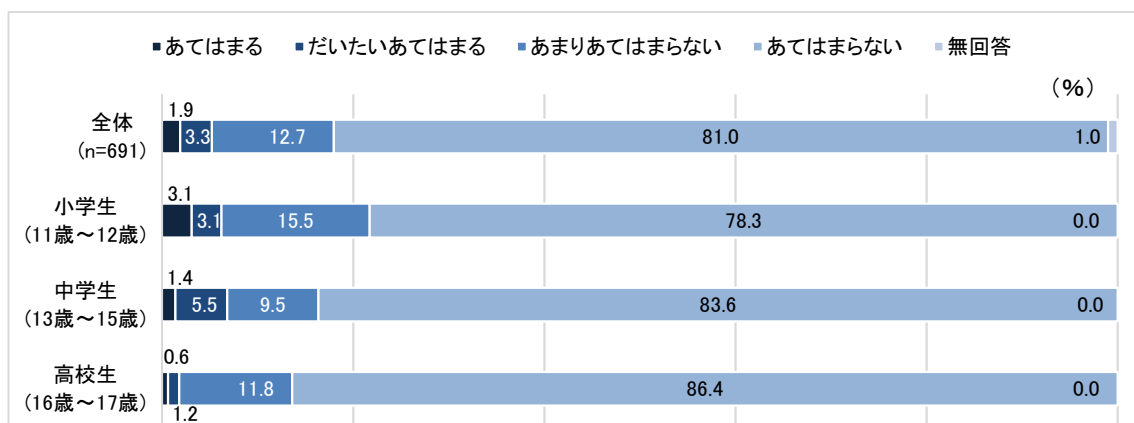
【子ども：年齢別】

子どもに対し、おとなからたたかれたり、なぐられたりするかをたずねたところ、子ども全体としては、「あてはまる」という回答が1.9%、「だいたいあてはまる」が3.3%、「あまりあてはまらない」が12.7%、「あてはまらない」が81.0%であった。

年齢別に見ると、「あてはまらない」という回答が、小学生世代78.3%、中学生世代83.6%、高校生世代86.4%で、各年代とも最も割合が高かった。「あてはまる」「だいたいあてはまる」という回答の割合は中学生世代が最も高く、6.9%であった。

図22 Q3-1 あなたは、おとな（親、先生など）からたたかれたり、なぐられたりしますか

【子ども：年齢別】



【おとな：男女別】【おとな：年代別】【おとな：子どもの有無別】

おとなに対して、子どもをたたくことがあるかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答は3.9%であった。

男女別にみると、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答は、男性が11.7%、女性が5.8%であった。

年代別にみると、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合が最も高かったのは40歳代(8.5%)で、次いで80歳以上(5.9%)、30歳代(5.4%)であった。

子どもの有無別にみると、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合が最も高かったのは、「0～6歳（就学前）の子どもがいる」おとなの11.1%で、次いで「高校生世代（18歳未満）の子どもがいる」おとなの9.5%であった。

図23 Q4-1 あなたは、子どもをたたいたりなぐったりすることがありますか【おとな：男女別】

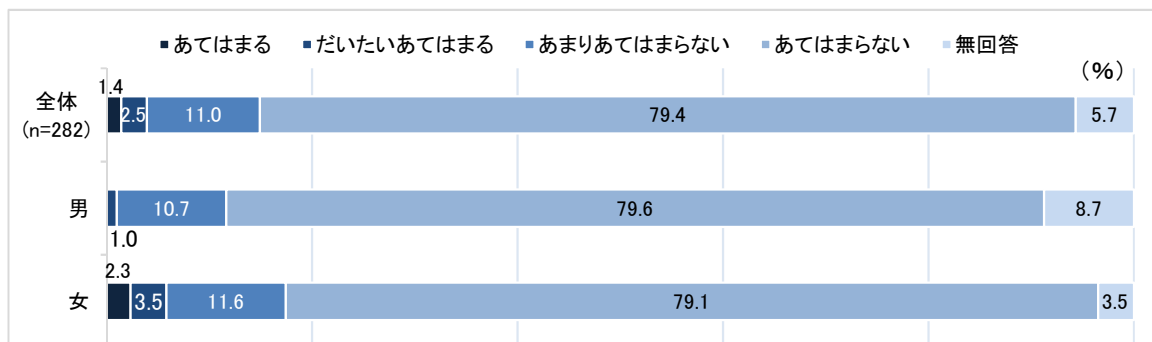


図24 Q4-1 あなたは、子どもをたたいたりなぐったりすることがありますか【おとな：年代別】

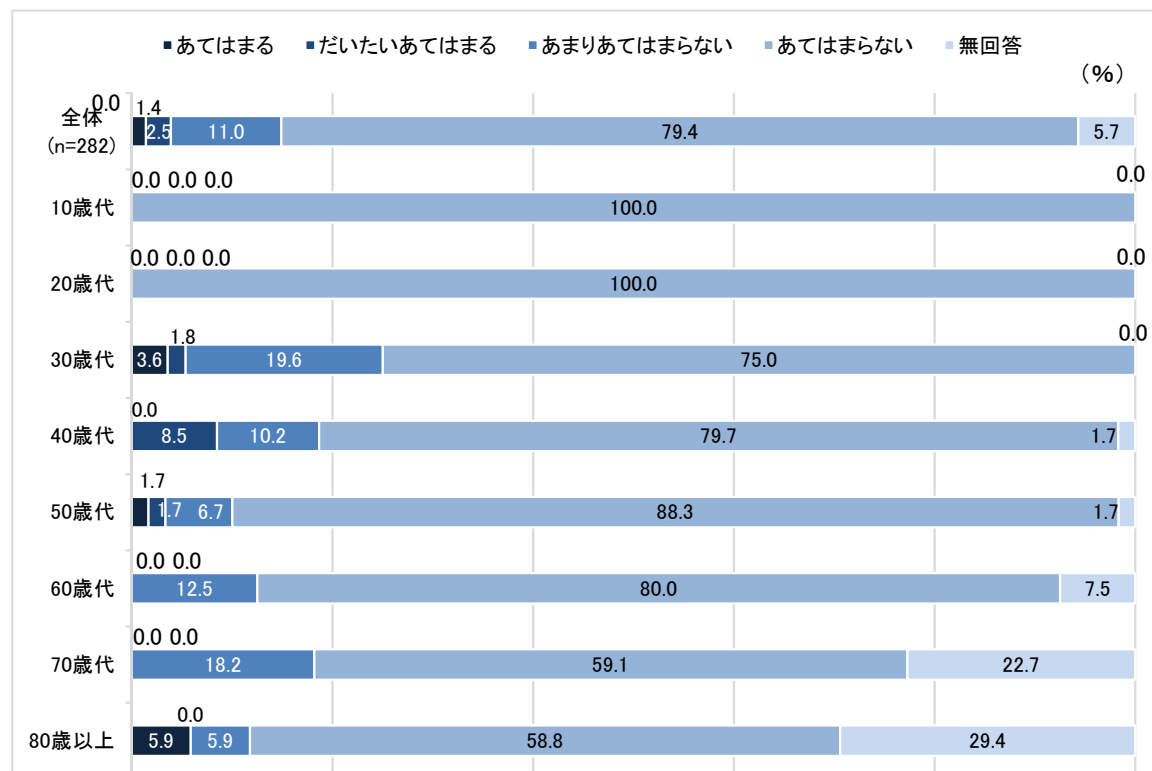
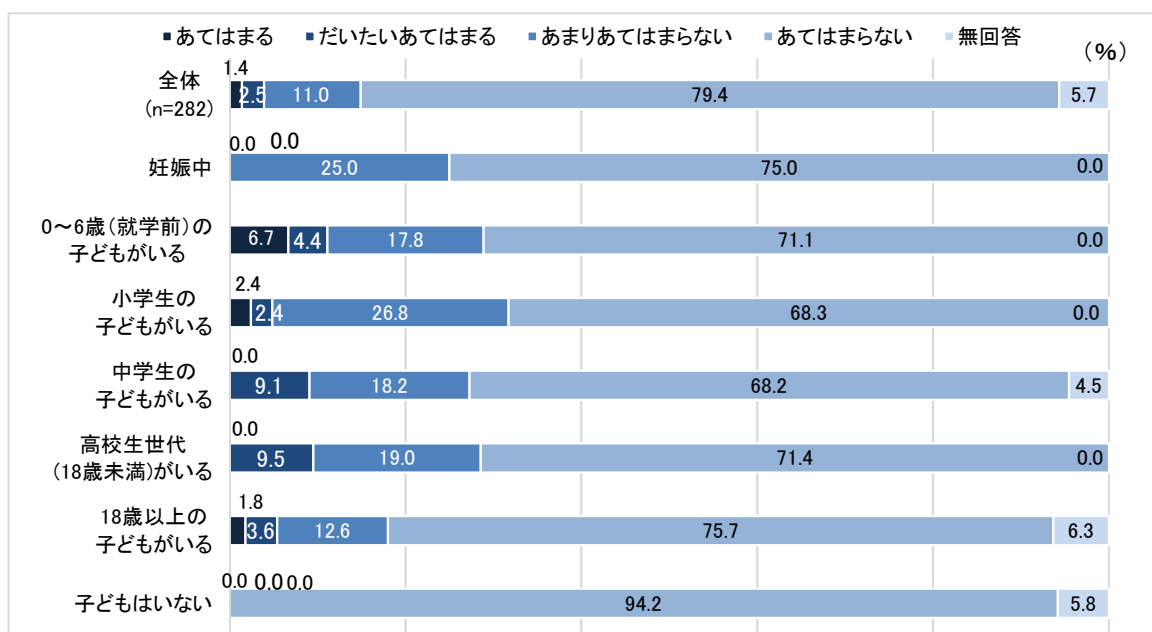


図25 Q4-1 あなたは、子どもをたたいたりなぐったりすることがありますか

【おとな：子どもの有無別】

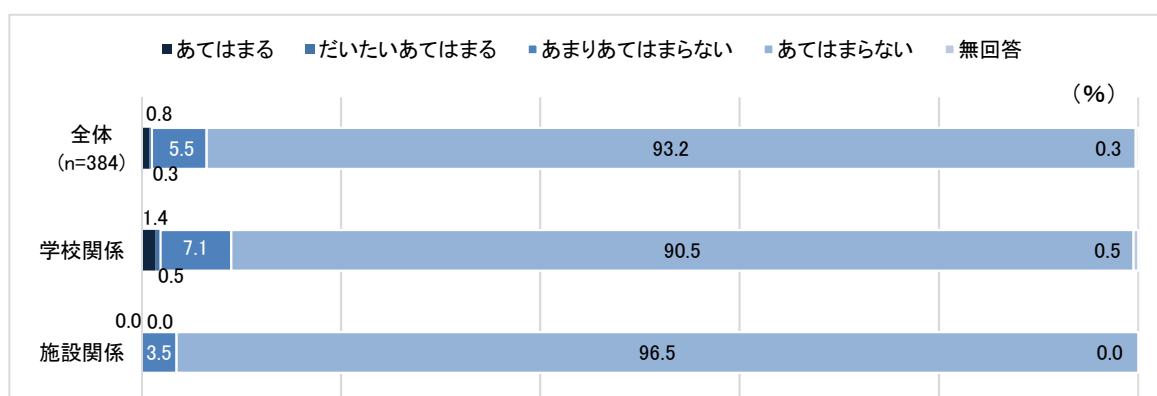


【職員：学校・施設別】

職員に対して、子どもをたたいたり、なぐったりすることがあるかをたずねたところ、「あてはまらない」という回答がほとんどであったが、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、学校関係の職員は1.9%、施設関係の職員は3.5%であった。

図26 Q7 あなたは、職場で子どもをたたいたり、なぐったりすることがありますか

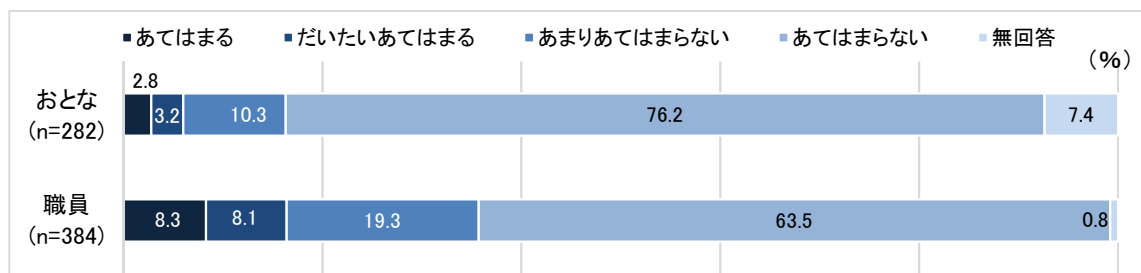
【職員：学校・施設別】



【おとな・職員】

おとなと職員に対して、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）からたたかれたり、なぐられたりすることに最近気づいたり聞いたりするかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、おとなが6.0%、職員が16.4%であった。

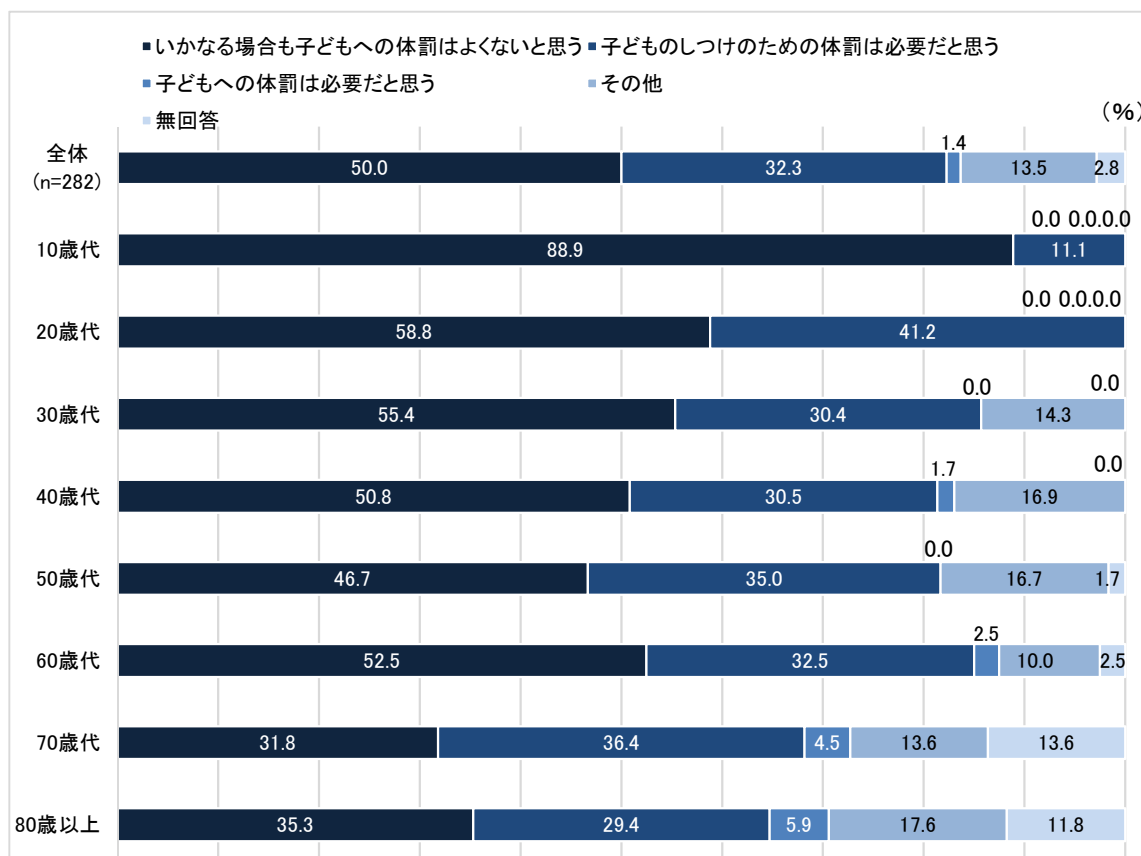
図27 あなたは、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から、以下のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。【たたかれたり、なぐられたりする】【おとな・職員】



【おとな：年代別】

おとなに対して、体罰をどう思うかをたずねたところ、おとな全体で「いかなる場合も子どもへの体罰はよくないと思う」という回答の割合は 50.0%、「子どものしつけのための体罰は必要だと思う」という回答の割合は 32.3%、「子どもへの体罰は必要だと思う」という回答の割合は 1.4%、であった。

図28 Q5 あなたは、保護者による体罰をどう思いますか。【おとな：年代別】



【職員：学校・施設別】

職員に対して、体罰をどう思うかをたずねたところ、職員全体で「いかなる場合も子どもへの体罰はよくないと思う」という回答の割合は 86.7%、「子どものしつけのための体罰は必要だと思う」という回答の割合は7.0%、「子どもへの体罰は必要だと思う」という回答の割合は0%であった。

図29 Q8 あなたは、体罰をどう思いますか。【職員：学校・施設別】

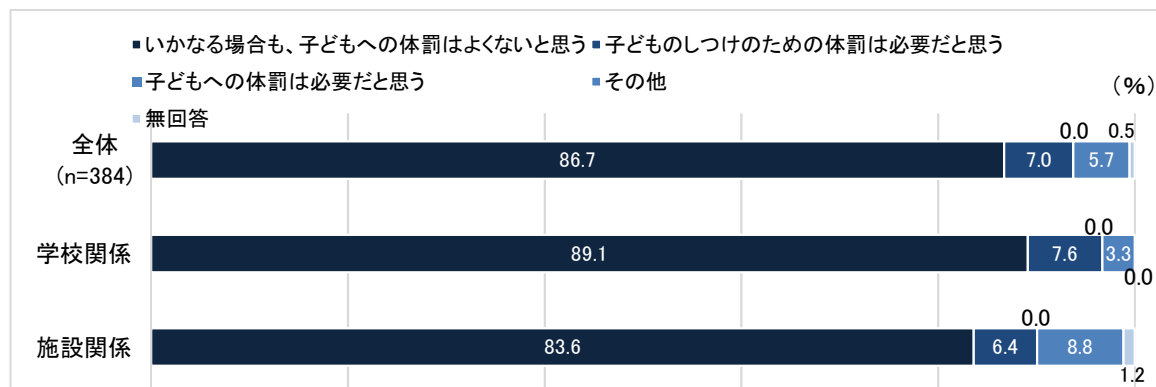
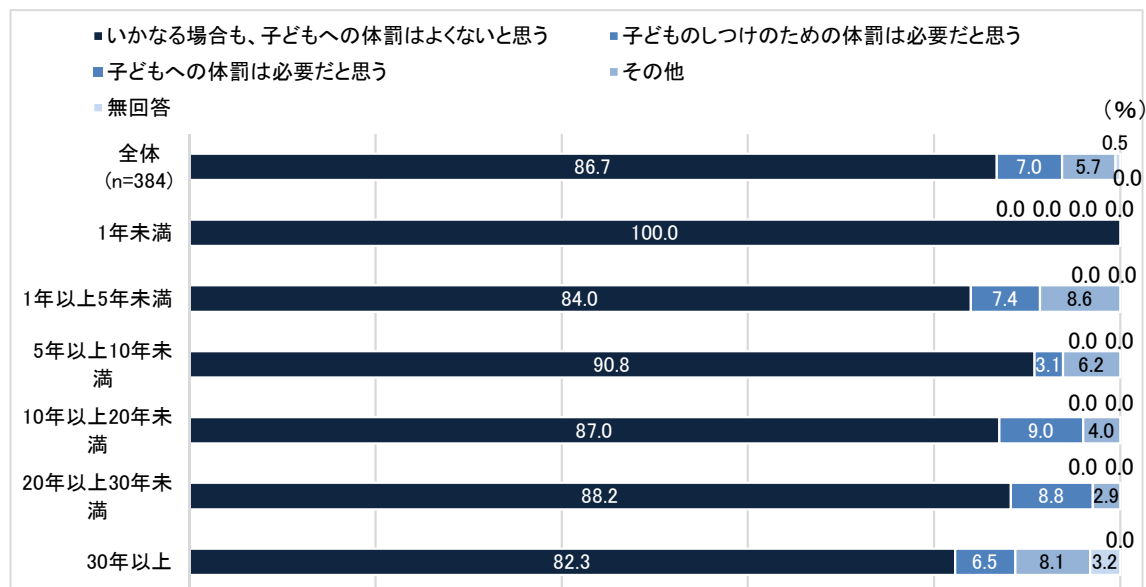


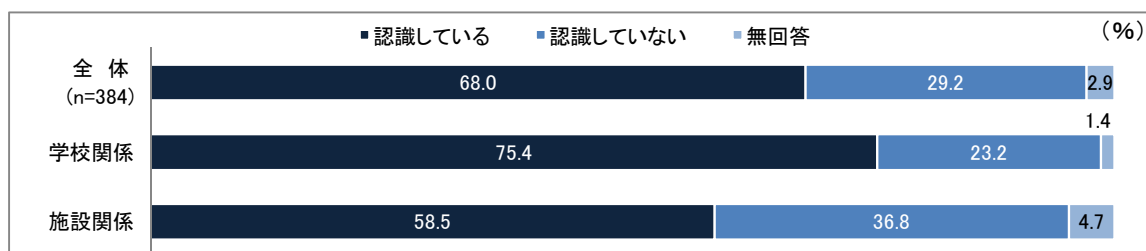
図30 Q8 あなたは、体罰をどう思いますか。【職員：勤続年数別】



【職員：学校・施設別】

職員に対して、懲戒権限の範囲を認識しているかをたずねたところ、職員全体で「認識している」という回答の割合は68.0%、「認識していない」という回答の割合は29.2%であった。

図31 Q32 あなたは、子どもへの懲戒権限の範囲を認識していますか。【職員：学校・施設別】



イ 心を傷つけられる言葉を言われること

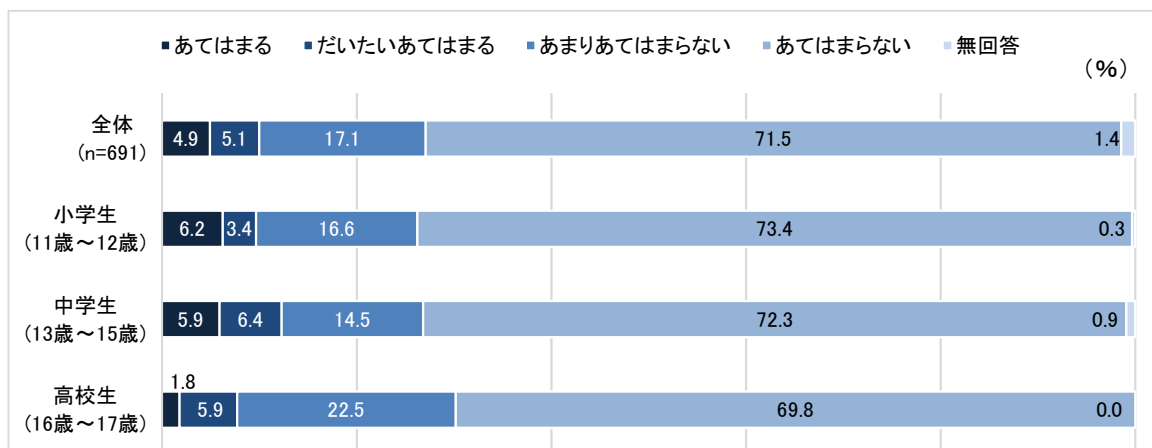
【子ども：年齢別】

子どもに対し、おとな（親、先生など）から心を傷つけられる言葉を言われるかをたずねたところ、子ども：全体としては、「あてはまる」が4.9%、「だいたいあてはまる」が5.1%、「あまりあてはまらない」が17.1%、「あてはまらない」という回答は71.5%であった。

年齢別に見ると、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の回答を合わせた割合が最も高かったのは、中学生世代が12.3%、次いで小学生世代が9.6%であった。

図32 Q3 あなたは、おとな（親、先生など）から心を傷つけられる言葉を言われますか。

【子ども：年齢別】



【おとな：男女別】【おとな：子どもの有無別】

おとなに対し、子どもの心を傷つける言葉を言うことがあるかをたずねたところ、男女別では、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合が男性で0.0%、女性7.6%であった。また、子どもの有無別では、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合が最も高かったのは「高校生世代（18歳未満）の子どもがいる」おとなで14.3%、次いで「中学生の子どもがいる」おとなで13.6%であった。

図33 Q4-2 あなたは、子どもの心を傷つける言葉を言うことがありますか。【おとな：男女別】

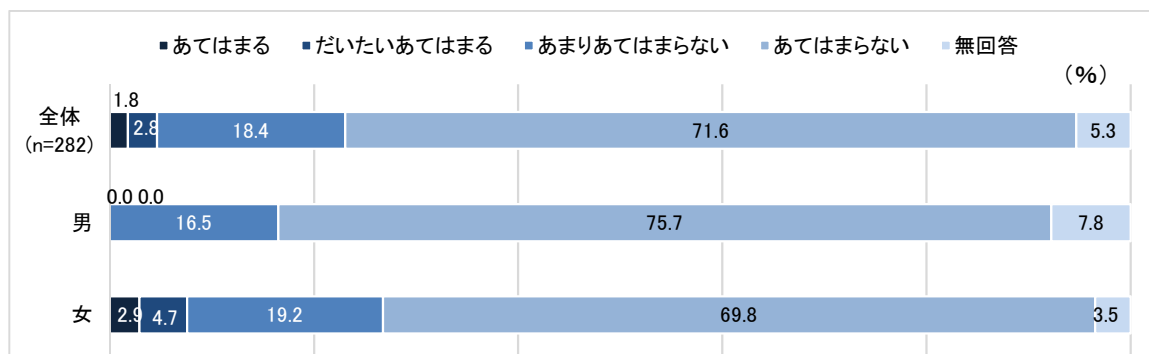
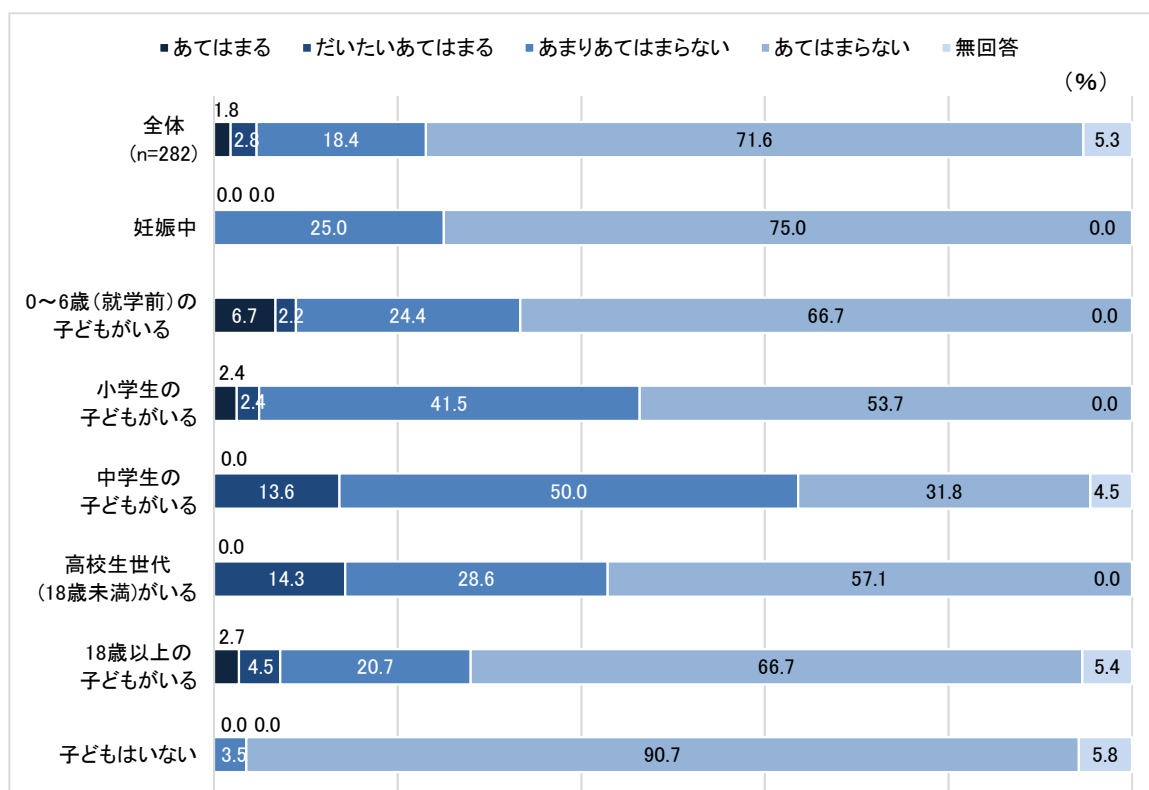


図34 Q4-2 あなたは、子どもの心を傷つける言葉を言うことがありますか。

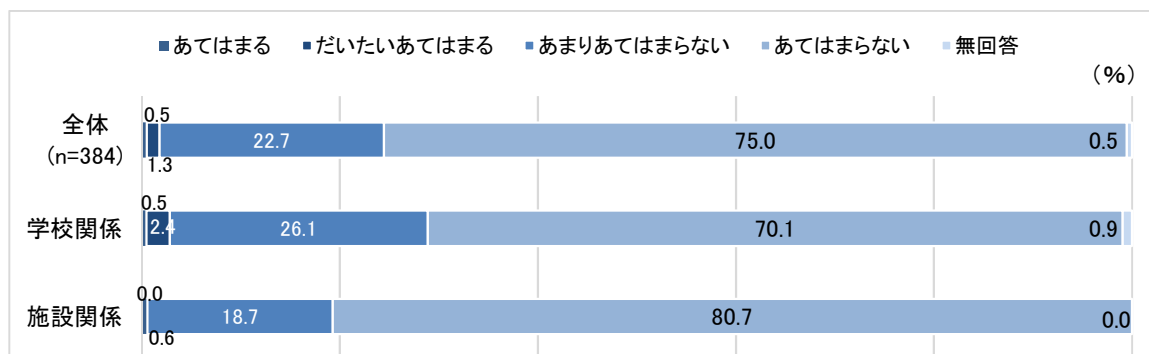
【おとな：子どもの有無別】



【職員：学校・施設別】

職員に対して、子どもの心を傷つける言葉を言うことがあるかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたあてはまる」を合わせた回答の割合は、学校関係の職員で2.9%、施設関係の職員で0.6%であった。

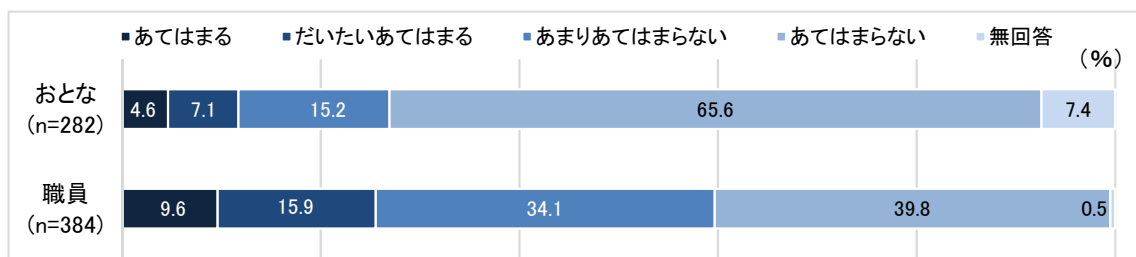
図35 Q7-2 あなたは、職場で子どもの心を傷つける言葉を言うことがありますか。【職員：学校・施設別】



【おとな・職員】

おとなと職員に対して、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から心を傷つけられる言葉をいわれることに最近気づいたり聞いたりするかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、おとなが 11.7%、職員が 25.5%であった。

図36 あなたは、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から、以下のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。【心を傷つけられる言葉をいわれる】 【おとな・職員】

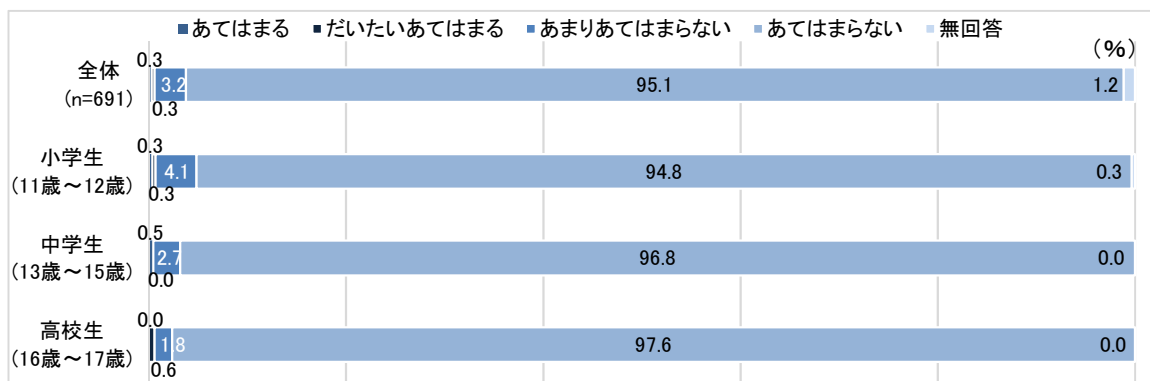


ウ 性的にいやなことをされたり、させられたりすること

【子ども：年齢別】

小学生・中学生・高校生世代ともに「あてはまらない」という回答がほとんどであったが、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、小学生世代で 0.6%、中学生世代で 0.5%、高校生世代で 0.6%であった。

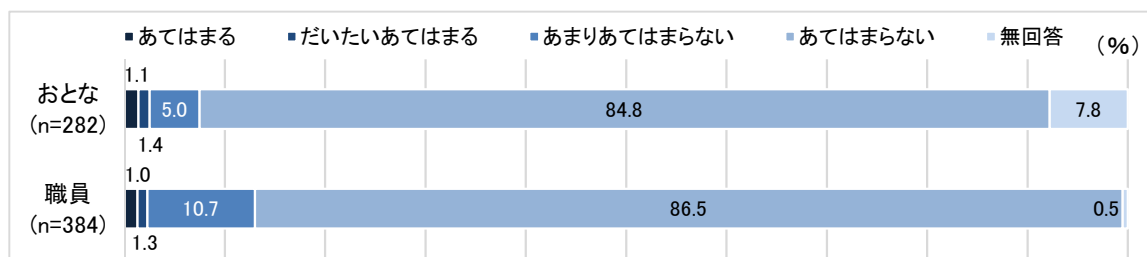
図37 Q3 あなたは、おとなから性的にいやなことをされますか。【子ども：年齢別】



【おとな・職員】

おとなと職員に対して、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から性的なことをされたり、させられたりすることに最近気づいたり聞いたりするかをたずねたところ、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という回答は、おとなが2.4%、職員が2.3%であった。

図38 Q4 あなたは、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から、以下のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。【性的なことをされたり、させられたりする】 【おとな・職員】



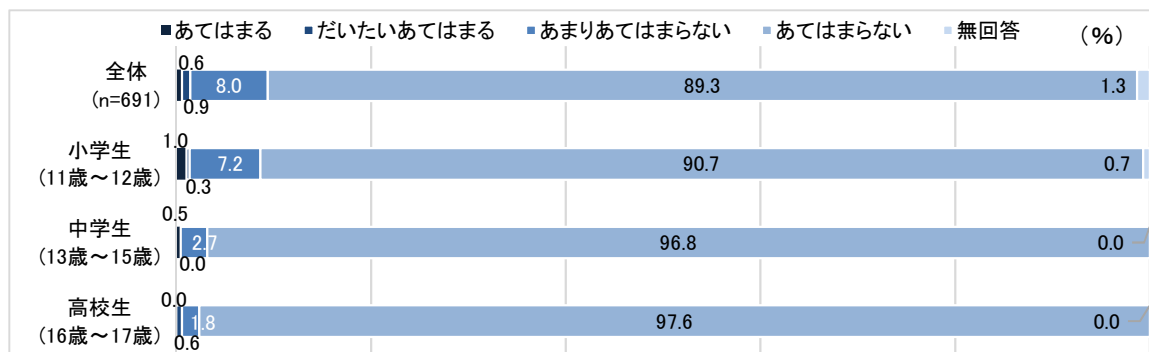
エ 世話してもらえなかったり無視されること

【子ども：年齢別】

子どもに対し、おとな（親、先生など）に世話してもらえなかったり無視されることがあるかをたずねたところ、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という回答が大半で、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、小学生世代が1.3%、中学生世代が0.5%、高校生世代が0.6%であった。

図39 Q3-4 あなたは、おとな（親、先生など）に世話をしてもらえなかったり無視されたりしますか。

【子ども：年齢別】

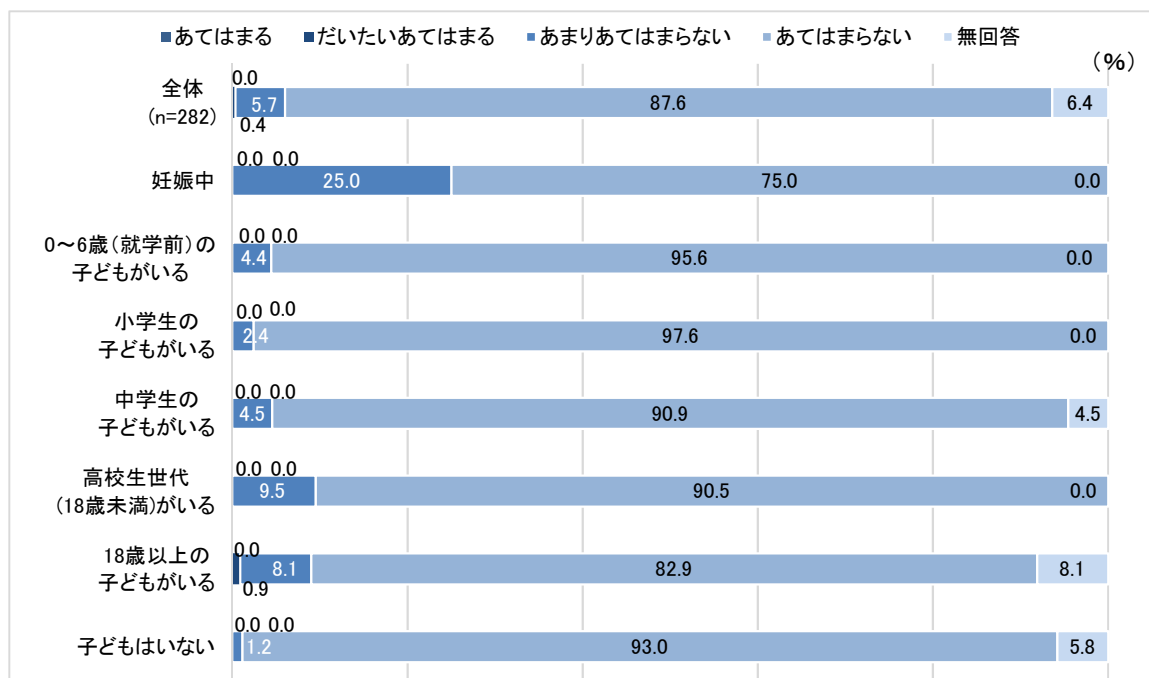


【おとな：子どもの有無別】

おとなに対し、子どもの世話をしなかったり無視したりすることがあるかをたずねたところ、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という回答が大半であった。

図40 Q9-4 あなたは、子どもの世話をしなかったり無視したりすることがありますか。

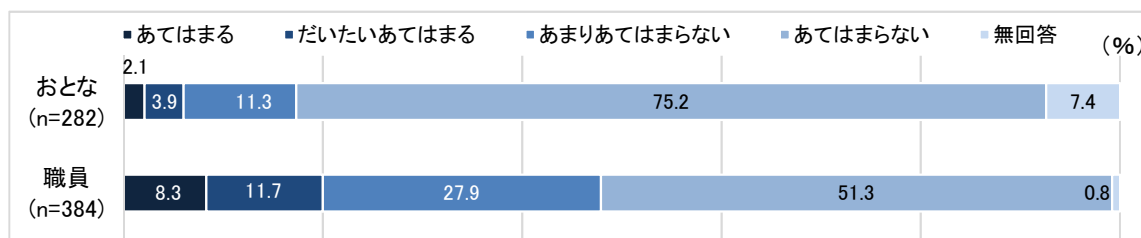
【おとな：子どもの有無別】



【おとな・職員】

おとなと職員に対して、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から世話をもらえなかったり、無視されたりすることに最近気づいたり聞いたりするかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、おとなが6.0%、職員が20.0%であった。

図4-1 あなたは、子どもが、おとな（親・保護者、先生など）から、以下のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。【世話してもらえなかったり、無視されたりする】 【おとな・職員】

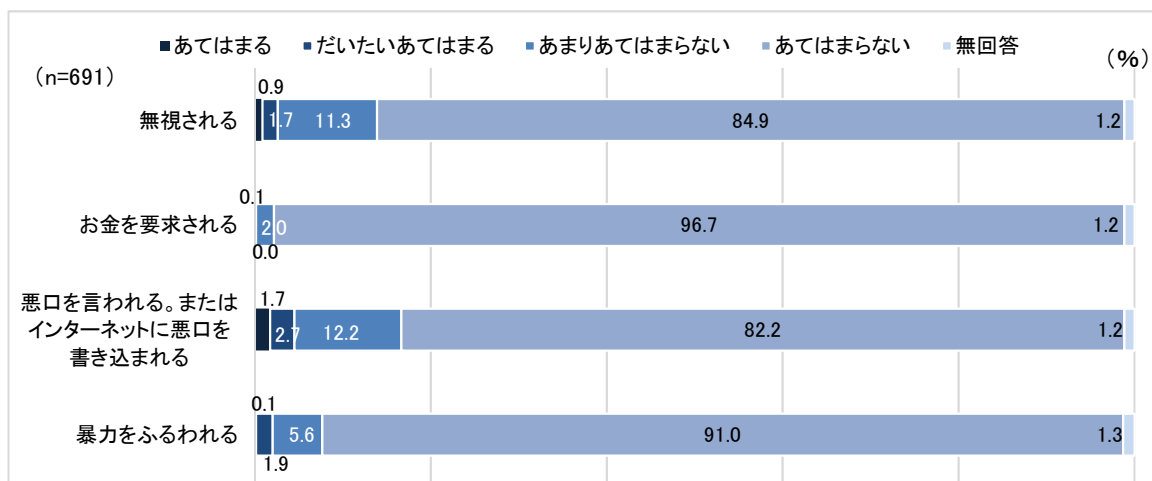


オ いじめ等

【子ども：全体】

子どもに対し、友だちや先輩、後輩から「無視される」「お金を要求される」「悪口を言われる、またはインターネットに悪口を書き込まれる」「暴力をふるわれる」ことがあるかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、「無視される」が2.6%、「お金を要求される」が0.1%、「悪口を言われる、またはインターネットに悪口を書き込まれる」が4.4%、「暴力をふるわれる」が2.0%であった。

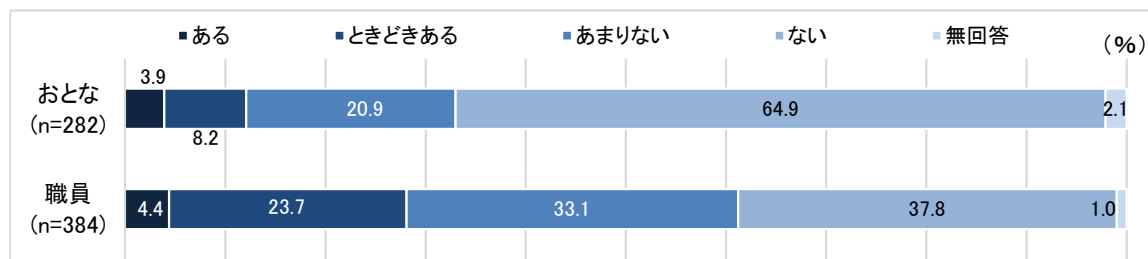
図4-2 Q4 あなたは、友だちや先輩、後輩から、次のことをされることがありますか【子ども：全体】



【おとな・職員】

おとなと職員に対し、最近、子どものいじめに気づいたことがあるかをたずねたところ、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答の割合は、おとなが12.1%、職員が28.1%であった。

図43 あなたは、最近、子どものいじめに気づいたことがありますか。【おとな・職員】



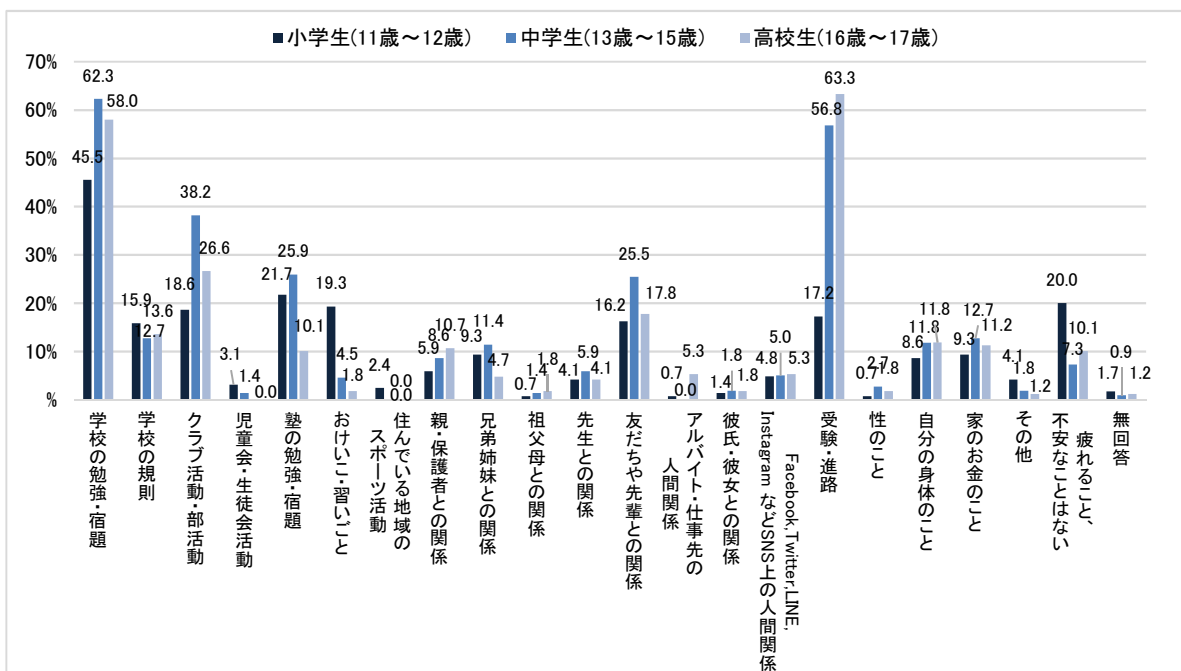
キ 疲れること、不安に思うこと

【子ども：年齢別】

子どもに対し、疲れること、不安に思うことはあるかをたずねたところ、小学生世代で回答の割合が最も高いのは「学校の勉強・宿題」で、次いで「塾の勉強・宿題」、「おけいこ・習いごと」の順であった。中学生世代も「学校の勉強・宿題」が最も高く、次いで、「受験・進路」、「クラブ活動・部活動」の順であった。高校生世代では「受験・進路」が最も高く、次いで、「学校の勉強・宿題」「クラブ活動・部活動」の順であった。

「疲れること、不安なことはない」という回答は小学生世代が20.0%で、疲れや不安を感じる子どもは、中学生・高校生世代に比べて少なかった。

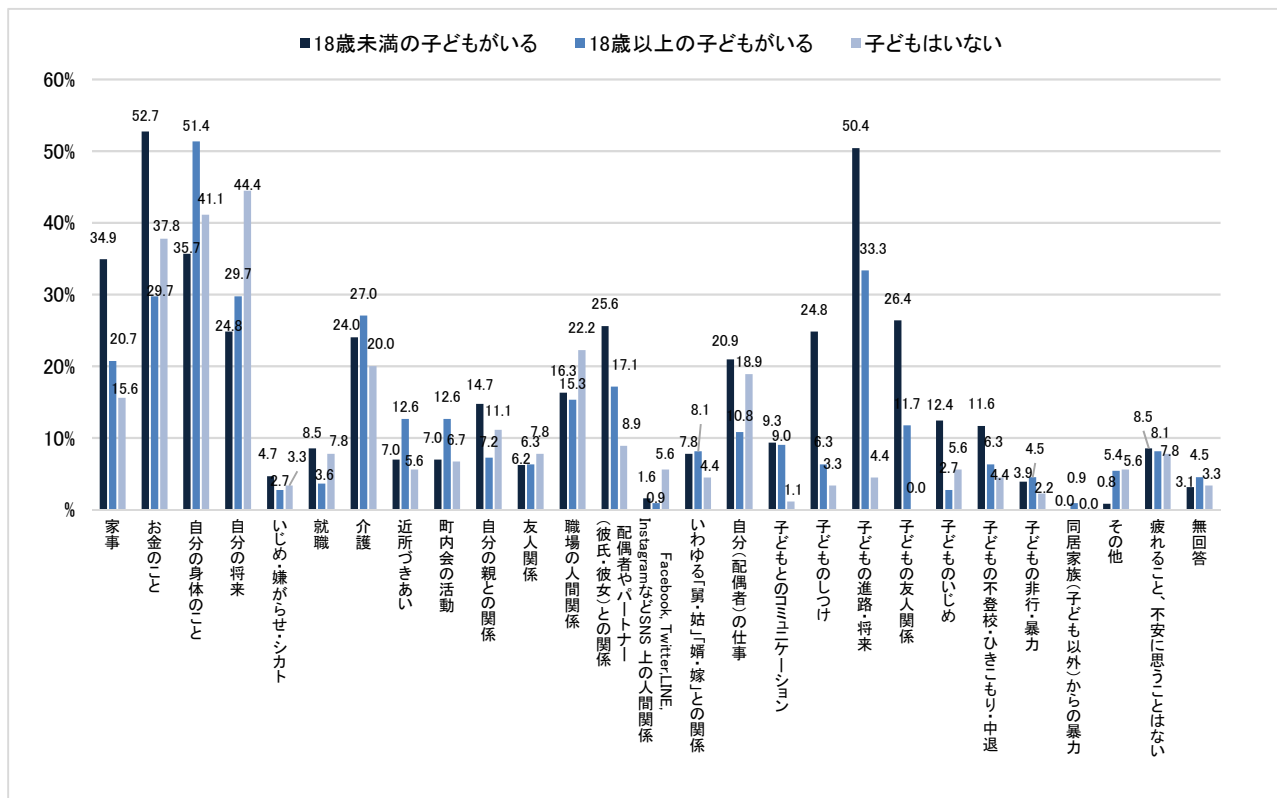
図44 Q5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うことがありますか。【子ども：年齢別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに対し、疲れること、不安に思うことがあるかをたずねたところ、子どもの有無別で、最も回答の割合が高かったのは、「18歳未満の子どもがいる」おとなは、「お金のこと」で52.7%、「18歳以上の子どもがいる」おとなは、「自分の身体のこと」で51.4%、「子どもはいない」おとなは、「自分の将来のこと」で44.4%であった。

図45 Q10 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うことがありますか。【おとな：子どもの有無別】



(2) 話を聞いてくれる人(学校・地域・家庭)

ア 学校で話を聞いてくれる先生・友だちの有無

(ア) 先生

【子ども：年齢別】

子どもに対し、学校には自分の話を聞いてよくわかってくれる先生がいるかをたずねたところ、子ども：全体では、88.0%の子どもが「いる」と回答し、10.1%の子どもが「いない」と回答していた。

年齢別に見ると、小学生世代では91.7%の子どもが「いる」と回答しているが、中学生世代では86.4%、高校生世代では83.4%であり、年齢が上がるにしたがって減少している。

図46 Q15 学校にはあなたの話をよく聞いてくれる先生がいますか。【子ども：年齢別】



(イ) 友だち

【子ども：年齢別】

子どもに対し、学校には何でも話せる友だちがいるかをたずねたところ、子ども全体では、「いる」という回答が86.0%、「いない」という回答が12.6%であった。

年齢別に見ると、「いる」と回答している割合は、小学生世代で89.3%、中学生世代で84.1%、高校生世代で83.4%であり、年齢が上がるにしたがってわずかに減少している。

図47 Q16 あなたは、学校に何でも話せる友だちがいますか。【子ども：年齢別】



イ 地域で話を聞いてくれる友だちの有無

【子ども：年齢別】

子どもに対し、地域で一緒に遊んだり話したりする友だちがいるかをたずねたところ、子ども全体では、「いる」という回答が77.1%、「いない」という回答が18.7%であった。

年齢別に見ると、「いる」と回答している割合は、小学生世代で81.7%と最も高かった。

図48 Q23 地域（学校以外）に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。【子ども：年齢別】



ウ 家庭で話を聞いてくれる人の有無

【子ども：年齢別】

子どもに対し、家で話を聞いてもらえるかをたずねたところ、子ども：全体では、「聞いてもらえる」が83.9%、「ときどき聞いてもらえる」が11.0%、「あまり聞いてもらえない」が1.4%、「聞いてもらえない」が0.3%であった。

年齢別にみると、「聞いてもらえる」と回答する小学生世代の割合が若干高かった。

図49 Q25 あなたは、家で話を聞いてもらえますか。【子ども：年齢別】



(3) 相談の相手

ア 悩みや相談事を話せる人の有無

【子ども：年齢別】

子どもに対し、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいるかをたずねたところ、子ども全体では「いる」という回答が85.7%であった。

年齢別にみると、「いる」という回答の割合は、小学生世代が91.7%と最も高かった。

図50 Q6 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。

【子ども：年齢別】

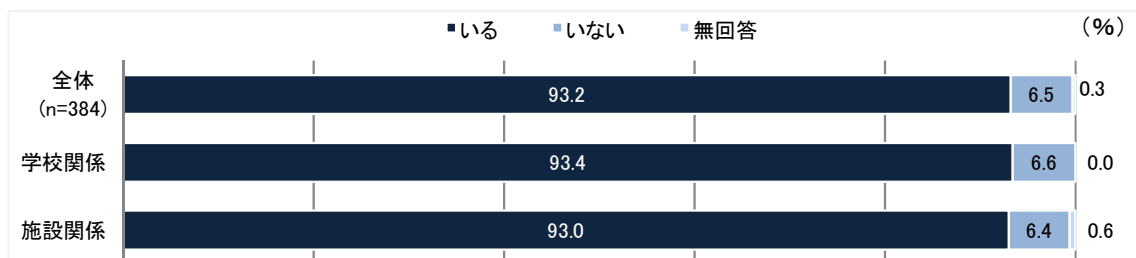


【職員：学校・施設別】

職員に対し、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいるかをたずねたところ、職員全体では「いる」という回答が93.2%であった。

図51 Q10 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。

【職員：学校・施設別】



【子ども：年齢別】

子どもに対し、困ったり悩んだりしたとき、だれかに相談したいと思うかをたずねたところ、子ども全体では「したいと思う」という回答が83.2%、「したいけどできない」が4.2%、「したいと思わない」が11.1%であった。

年齢別にみると、「したいと思う」と回答する割合は、小学生世代が87.6%で最も高かった。

図52 Q7 あなたには、困ったり悩んだりしたとき、だれかに相談したいと思いますか。

【子ども：年齢別】



「したいけどできない」理由としては、以下の回答があった。(回答者24人：複数回答有)

【自由記述例】

- ・恥ずかしいから (他に同様の回答4件)
- ・迷惑をかけたくない (他に同様の回答2件)
- ・どう思われるか不安だから (他に同様の回答1件)
- ・だれかにばらされないか不安 (他に同様の回答1件)
- ・言いにくい (他に同様の回答1件)
- ・深く聞かれるのが嫌だから
- ・相談して相手がいやな気持ちになったらいやだから
- ・母にはできるけど、わかってもらえないかもしれなくて
- ・いつも明るいから、なやんでいても軽くみられるから など

「したいと思わない」理由としては、以下の回答があった。(回答者61人：複数回答有)

【自由記述例】

- ・自分で解決できるから (他に同様の回答18件)
- ・面倒臭いから (他に同様の回答5件)
- ・相談しても解決できると思わないから (他に同様の回答4件)
- ・心配させたくないから (他に同様の回答2件)
- ・知られたくないから (他に同様の回答2件)
- ・自分の事で他人に迷惑をかけたくないと思うから
- ・他人の気持ちが分かる人間は普通いないから。
- ・自分の事は自分で解決しないと将来のためにならないから
- ・しばらくして考え直すと、自分が落ちついてなかっただけということが多いから
- ・誰に何と言って相談すればいいかわからない など

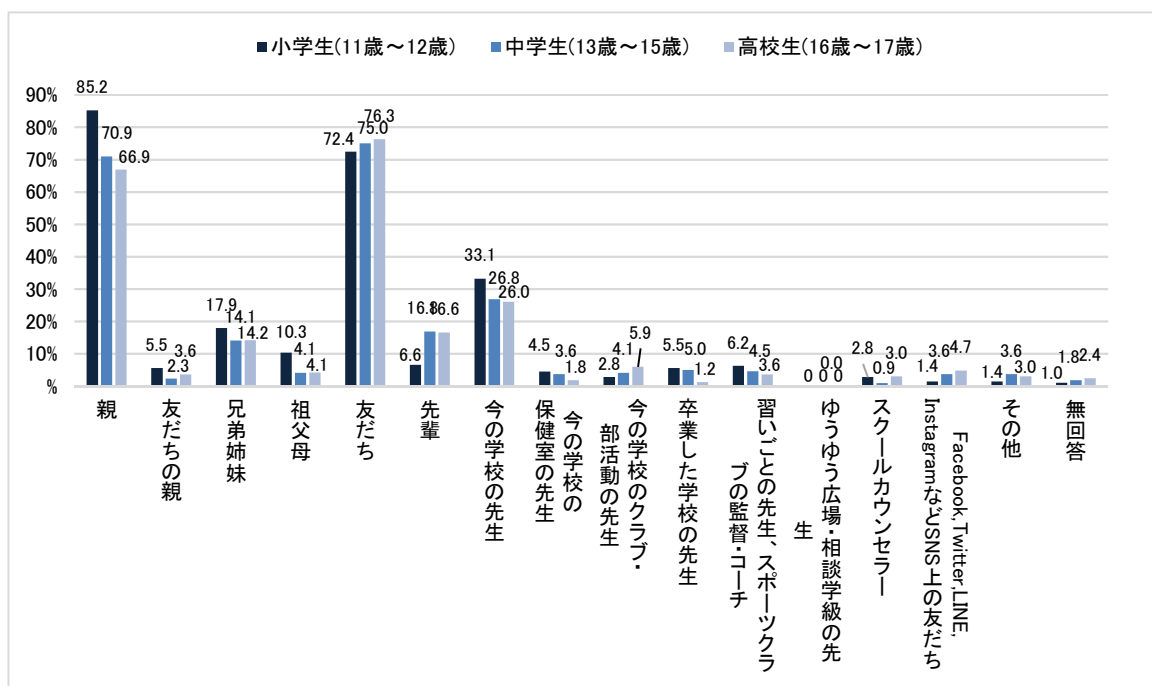
【子ども：年齢別】

子どもに対し、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、だれに相談するかをたずねたところ、年齢別に見ると、小学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「親」で85.2%、次いで、「友だち」で72.4%、「今の学校の先生」で33.1%であった。中学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「友だち」で75.0%、次いで「親」で70.9%、「今の学校の先生」で26.8%であった。高校生世代で最も回答の割合が高かったのは、「友だち」で76.3%、次いで「親」で66.9%、「今の学校の先生」で26.0%であった。

「親」「今の学校の先生」と回答する割合は、年齢が高くなるにしたがって低下する傾向にあり、「友だち」と回答する割合は年齢が高くなるにしたがって増加する傾向にある。

図53 Q8 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、だれに相談しますか。

【子ども：年齢別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに対し、困ったり悩んだりしたとき、だれかに相談したいと思うかをたずねたところ、おとな全体では「したいと思う」という回答が81.2%、「したいけどできない」が3.2%、「したいと思わない」が12.8%であった。

図54 Q12 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、だれかに相談したいと思いますか。【おとな：全体】

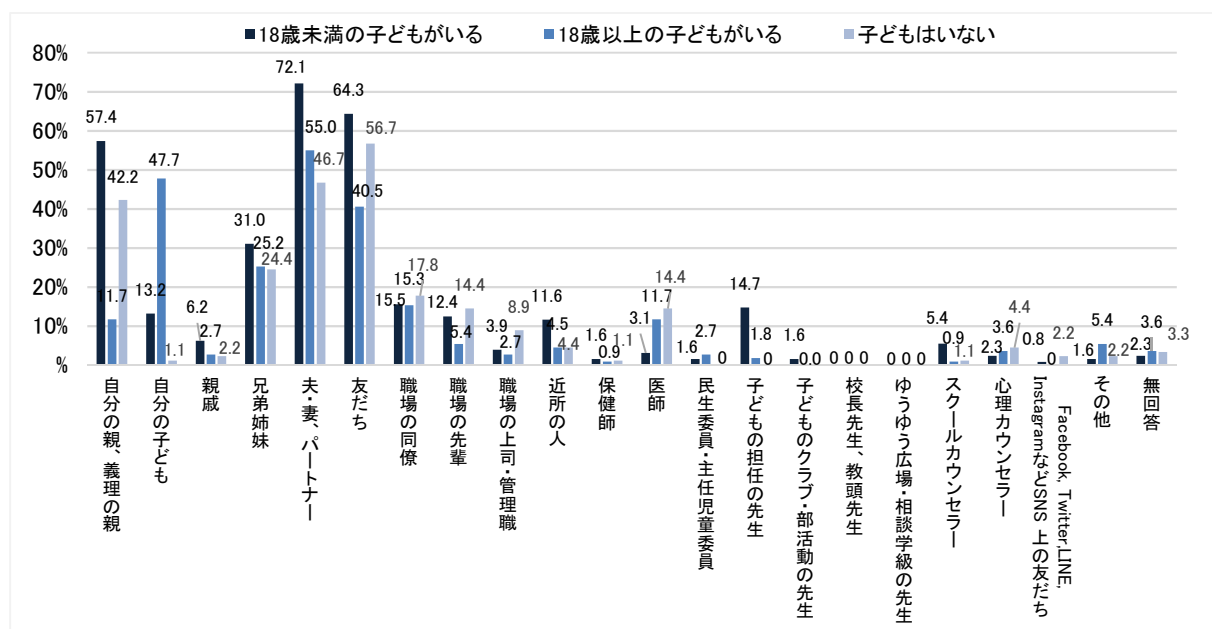


【おとな：子どもの有無別】

おとなに対し、困ったり悩んだりしたとき、だれに相談するかをたずねたところ、子どもの有無別でみると、「18歳未満の子どもがいる」おとなで最も割合が高かったのは、「夫・妻、パートナー」の72.1%で、次いで「友だち」で64.3%、「自分の親、義理の親」で57.4%であった。「18歳以上の子どもがいる」おとなで最も割合が高かったのは、「夫・妻、パートナー」で55.0%、次いで、「自分の子ども」で47.7%、「友だち」で40.5%であった。「子どもはいない」おとなで最も割合が高かったのは、「友だち」で56.7%、次いで「夫・妻、パートナー」で46.7%、「自分の親、義理の親」で42.2%であった。

図55 Q13 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、だれに相談しますか。

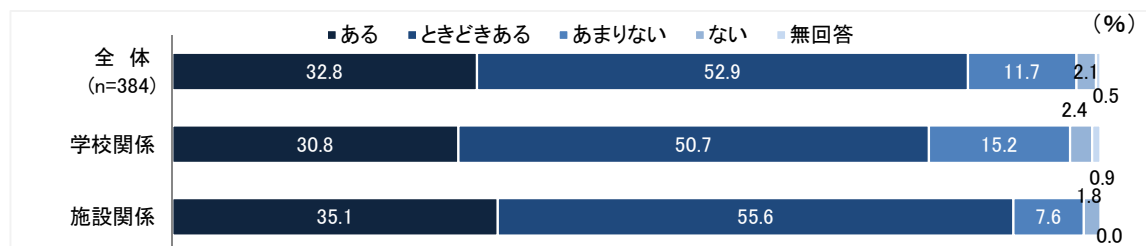
【おとな：子どもの有無別】



【職員：学校・施設別】

職員に対し、仕事上の悩みがあるかをたずねたところ、「ある」「ときどきある」を合わせた回答の割合は、職員全体で85.7%であった。

図56 Q9 あなたは、仕事上の悩みがありますか。【職員：学校・施設別】

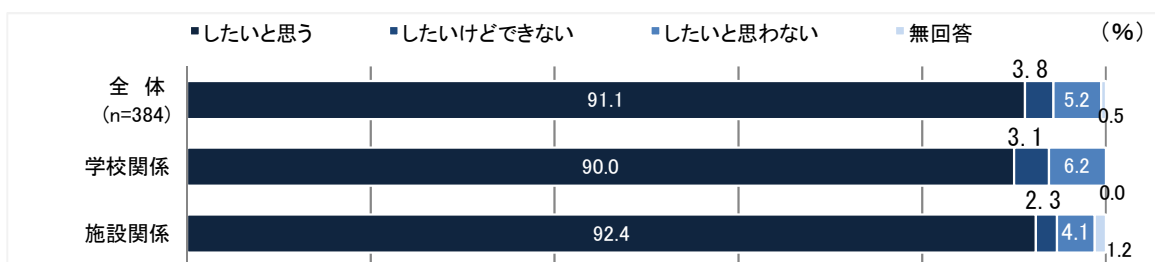


【職員：学校・施設別】

職員に対し、困ったり悩んだりしたとき、だれかに相談したいと思うかをたずねたところ、職員全体で、「したいと思う」という回答の割合は91.1%であった。

図57 Q11 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、だれかに相談したいと思いますか。

【職員：学校・施設別】

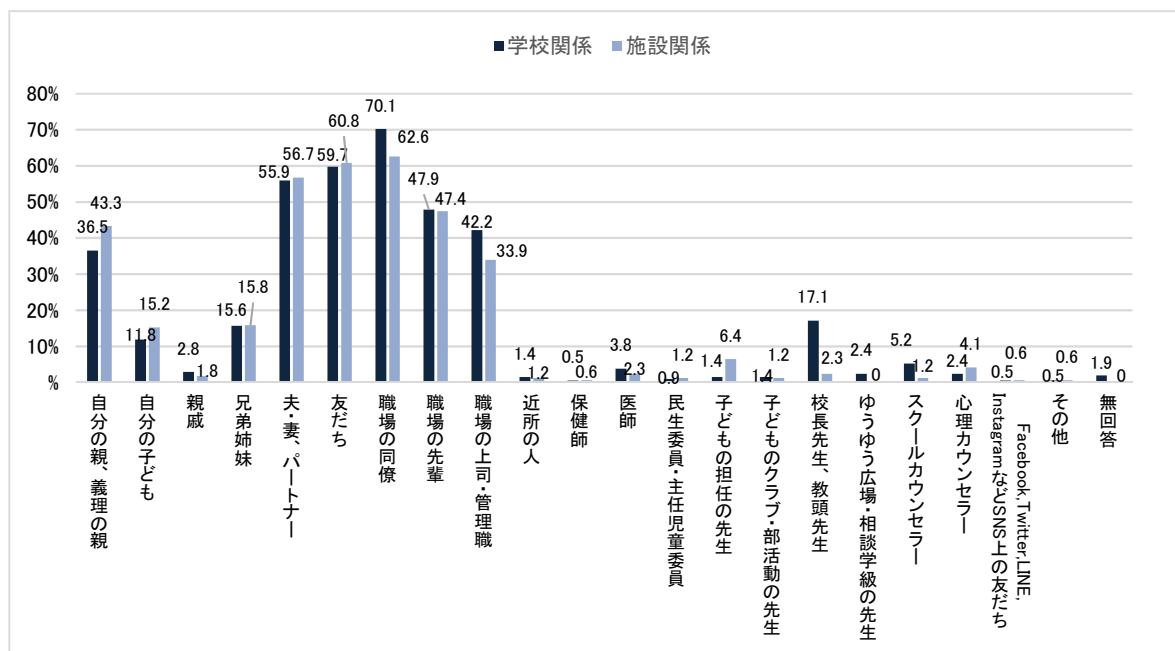


【職員：学校・施設別】

職員に対し、困ったり悩んだりしたとき、だれに相談するかをたずねたところ、学校・施設ともに、「職場の同僚」が最も高く (70.1%、62.6%)、次いで、「友だち」(59.7%、60.8%)、「夫・妻、パートナー」(55.9%、56.7%)の順であった。

図58 Q12 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、だれに相談しますか。

【職員：学校・施設別】



イ 相談・救済機関の認知度と利用

【子ども：年齢別】

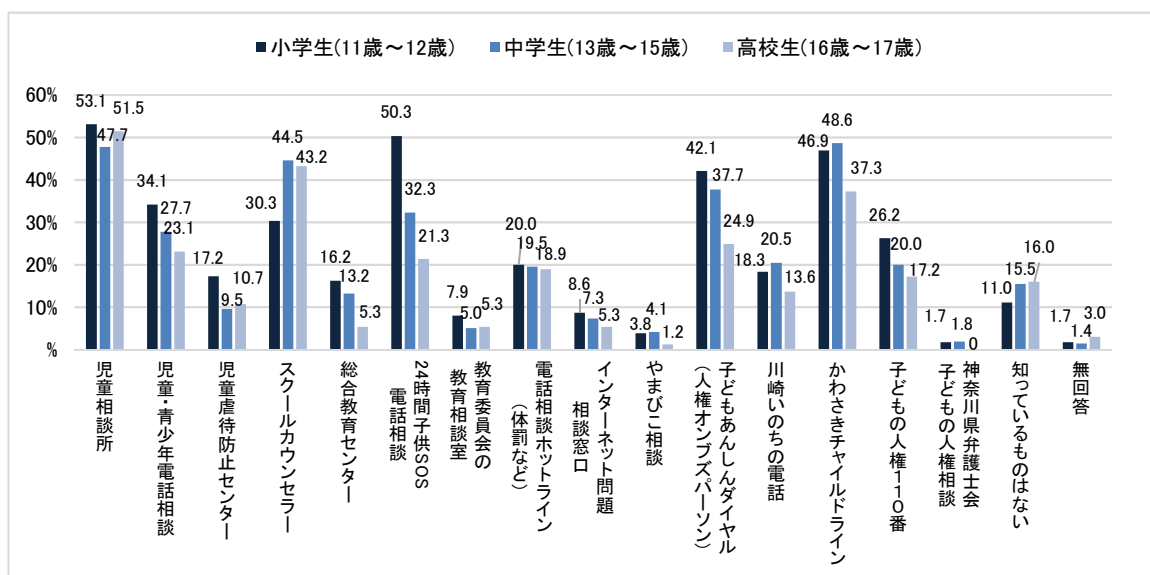
子どもに対して、知っている相談・救済機関をたずねたところ、小学生世代では、「児童相談所」の53.1%が最も高く、次いで「24時間子供SOS電話相談」の50.3%、「かわさきチャイルドライン」の46.9%であった。

中学生世代では、「かわさきチャイルドライン」の48.6%が最も高く、次いで「児童相談所」の47.7%、「スクールカウンセラー」の44.5%であった。

高校生世代では、「児童相談所」の51.5%が最も高く、次いで「スクールカウンセラー」の43.2%、「かわさきチャイルドライン」で37.3%であった。

年齢が高くなるにつれ、「知っているものはない」という割合が高くなり、高校生世代で16.0%であった。

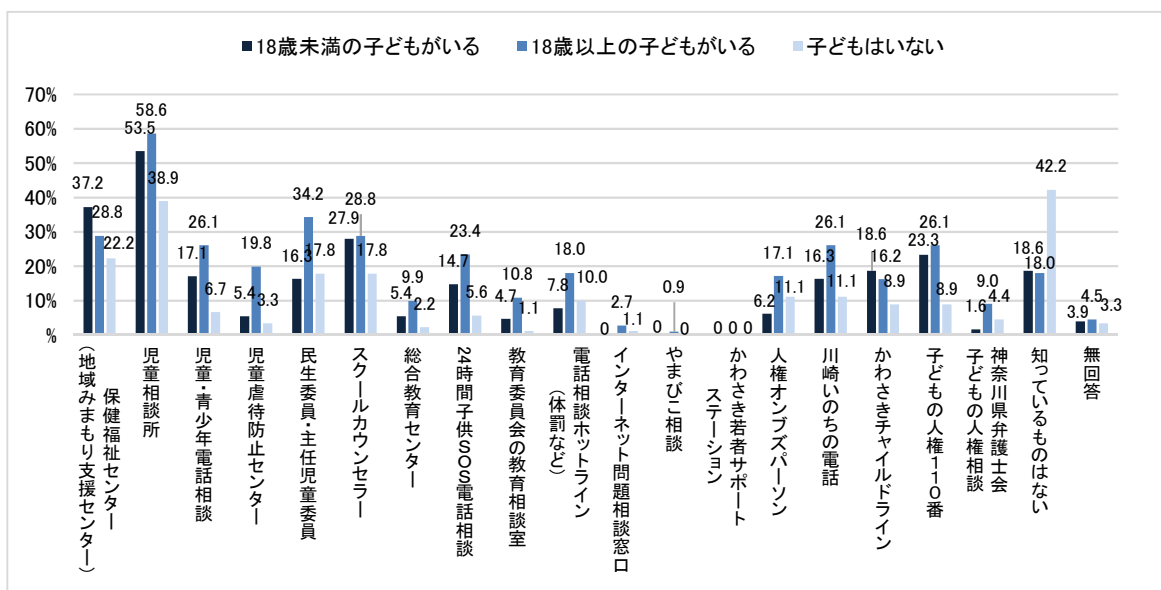
図59 Q9 次のような川崎市の子どもの相談を受けてくれるところを知っていますか。【子ども：年齢別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに対して、知っている相談・救済機関をたずねたところ、子どもの有無別では、「18歳未満の子どもがいる」おとなは、「児童相談所」が53.5%と最も割合が高く、次いで、「保健福祉センター(地域みまもり支援センター)」が37.2%、「スクールカウンセラー」が27.9%であった。「18歳以上の子どもがいる」おとなは、「児童相談所」が68.6%と最も割合が高く、次いで「民生委員・主任児童委員」が34.2%、「スクールカウンセラー」が28.8%であった。「子どもはいない」おとなは、「知っているものはない」が42.2%と最も高く、「」が38.9%と最も高く、次いで「児童相談所」が38.9%、「保健福祉センター(地域みまもり支援センター)」が22.2%であった。

図60 Q14 次のような川崎市の子どもの相談を受けてくれるところを知っていますか。【おとな：子どもの有無別】

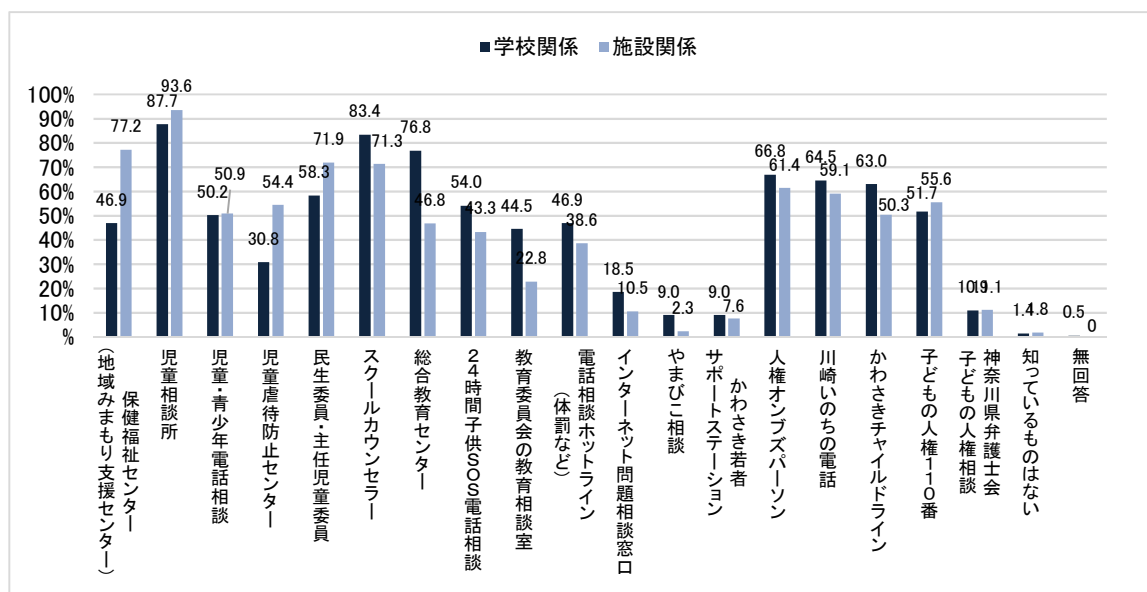


【職員：学校・施設別】

職員に対して、知っている相談・救済機関をたずねたところ、当然のことながら、子ども・おとなに比べて認知度は高い。学校・施設別に職員では、「保健福祉センター（地域みまもり支援センター）」「児童虐待防止センター」などは施設関係の職員の認知度が学校関係の職員を大きく上回り、逆に、「川崎市総合教育センター」「教育委員会の教育相談室」「スクールカウンセラー」などは、学校関係の職員の認知度の方が上回った。

図61 Q13 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。

【職員：学校・施設別】



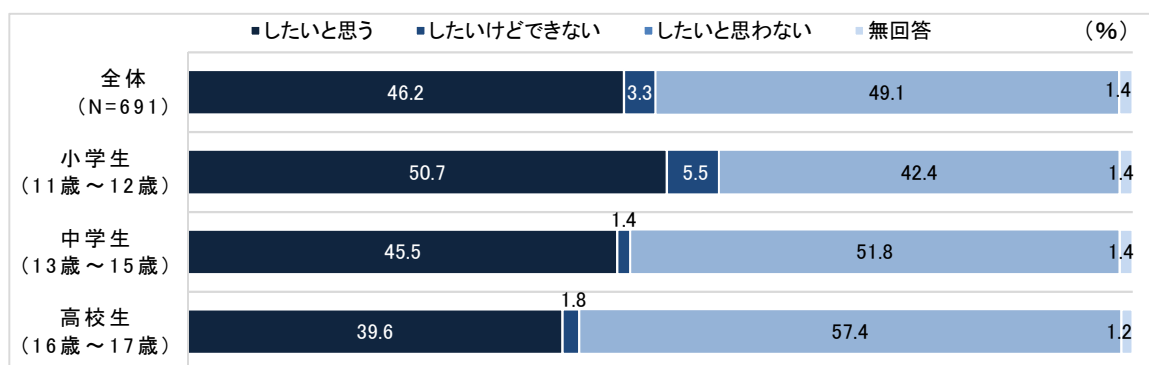
【子ども：年齢別】

子どもに対し、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思うかをたずねたところ、子ども全体では「したいと思う」という回答が46.2%、「したいけどできない」は3.3%、「したいと思わない」は49.1%であった。

年齢別にみると、「したいと思う」と回答する割合は、小学生世代が50.7%と最も高く、「相談したいと思わない」という回答の割合は、高校生世代が57.4%と最も高かった。

図62 Q10 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。

【子ども：年齢別】



「したいけどできない」理由としては、以下の回答があった。(回答者14人：複数回答有)

【自由記述例】

- ・こわいから (他に同様の回答2件)
- ・知らない人に話せない (他に同様の回答1件)
- ・はずかしい (他に同様の回答1件)
- ・親になにもいわずに、かってに電話していいのかなと思うから
- ・性格が人に上手く話せる性格ではないから など

「したいと思わない」理由としては、以下の回答があった。(回答者281人：複数回答有)

【自由記述例】

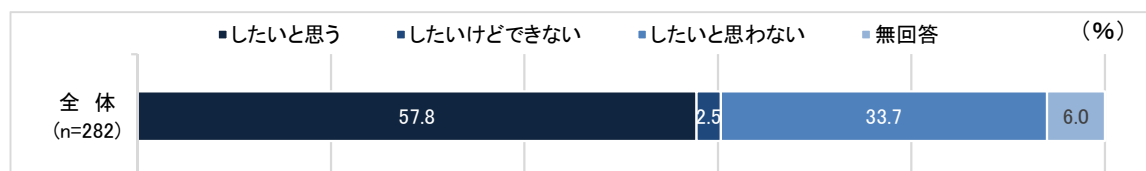
- ・周りに相談できる人がいるから (他に同様の回答112件)
- ・知らない人には相談したいと思わないから (他に同様の回答44件)
- ・面倒くさいから (他に同様の回答29件)
- ・相談したい悩みがない (他に同様の回答14件)
- ・信用できるか分からないから (他に同様の回答14件)
- ・自分で解決できるから (他に同様の回答11件)
- ・電話するのがいやだから (他に同様の回答5件)
- ・個人的なことを知らない人に知られたくない (他に同様の回答4件)
- ・どこにすればいいか分からない (他に同様の回答4件)
- ・大きな問題になるのが嫌だから (他に同様の回答2件)
- ・それで解決できるのか不安だから (他に同様の回答2件)

- ・時間がない、部活が忙しくて
- ・気軽に相談出来ない気がするから
- ・相談したことが外にもれそうだから
- ・何かマニュアルのような物に沿って話していそうなイメージがあるから
- ・1回相談しようと電話したが、受け答えが嫌な態度というか、冷たかったから。
- ・人のきもちをしらないくせにペラペラゆうのがいや など

【おとな：全体】

おとなに対し、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思うかをたずねたところ、子ども全体では「したいと思う」という回答が47.8%、「したいけどできない」は2.5%、「したいと思わない」は33.7%であった。

図63 Q15 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。【おとな：全体】



【職員：学校・施設別】

職員に対し、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思うかをたずねたところ、職員全体では「したいと思う」という回答が60.7%、「したいけどできない」は4.2%、「したいと思わない」は32.8%であった。

図64 Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。

【職員：学校・施設別】

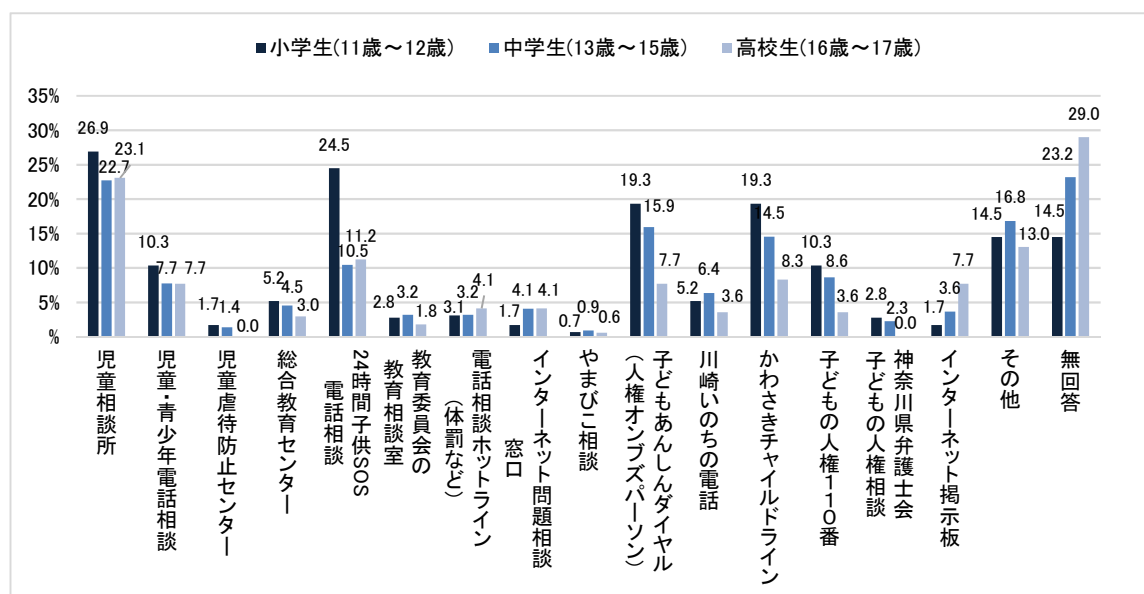


【子ども：年齢別】

子どもに対し、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、どこに相談するかをたずねたところ、すべての年代において「児童相談所」が最も回答の割合が高かった。「24時間子供SOS電話相談」は、とりわけ小学生世代において回答の割合が高かった。

図65 Q11 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、どこに相談しますか。

【子ども：年齢別】



【子ども：全体】

子どもに対し、どのようなところなら相談しようと思うかを自由記述によりたずねたところ、以下の回答があった。(回答者 462 人：複数回答有)

【自由記述例】

- ・話をちゃんと聞いてくれるところ (他に同様の回答 59 件)
- ・自分が相談したことを秘密にしてくれるところ (他に同様の回答 35 件)
- ・気軽に話せそうなところ (他に同様の回答 32 件)
- ・親身に自分の相談を聞いてくれるところ (他に同様の回答 28 件)
- ・安心して相談できるところ (他に同様の回答 26 件)
- ・信頼できるところ (他に同様の回答 25 件)
- ・問題をしっかり解決してくれるところ (他に同様の回答 24 件)
- ・優しい人がいるところ (他に同様の回答 24 件)
- ・匿名で話を聞いてくれる (他に同様の回答 18 件)
- ・電話で相談できるところ (他に同様の回答 16 件)
- ・聞くだけではなくてちゃんとアドバイスしてくれるところ (他に同様の回答 15 件)
- ・自分の知っている人がいる所 (他に同様の回答 13 件)
- ・インターネットで相談したい (他に同様の回答 9 件)
- ・自分の事を理解してくれる人がいる所 (他に同様の回答 7 件)
- ・誰にも気づかれずに相談できるところ (他に同様の回答 5 件)
- ・24時間いつでも相談できるところ (他に同様の回答 5 件)
- ・電話ではなく、直接話せる所 (他に同様の回答 5 件)

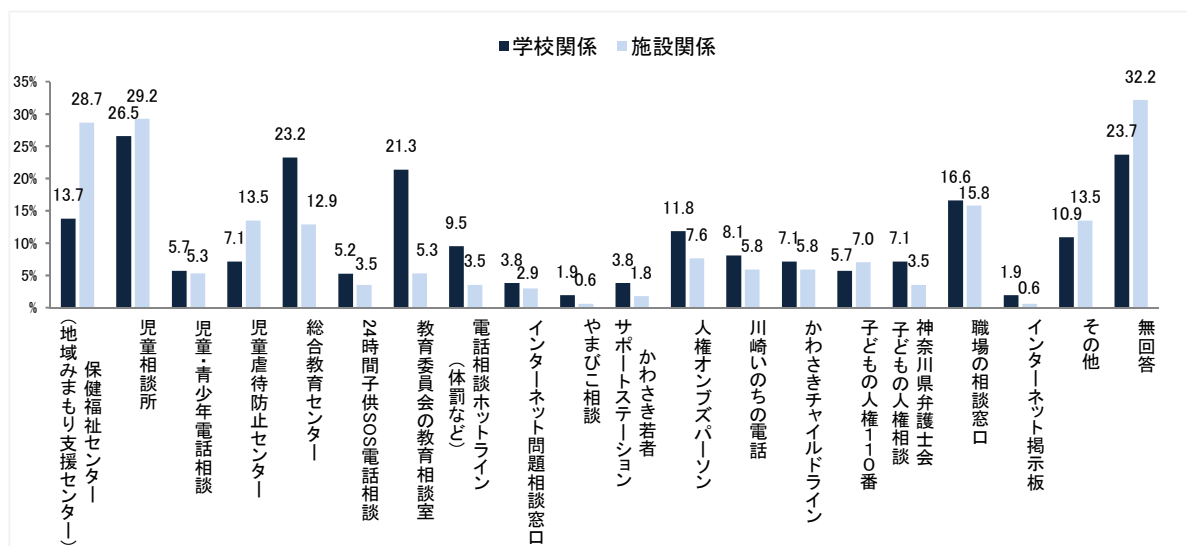
- ・おちついて話しができ、周りの音を気にせず話しができる所（他に同様の回答 5 件）
- ・女の人に相談したいです（他に同様の回答 4 件）
- ・楽しい所（他に同様の回答 3 件）
- ・年齢（役員の）が若い人が多い所。（他に同様の回答 3 件）
- ・同性のほうは何においても相談しやすいと思う（他に同様の回答 3 件）
- ・家に近い所（他に同様の回答 2 件）
- ・お金がかからないところ（他に同様の回答 2 件）
- ・1 対 1 で話せる所（他に同様の回答 1 件）
- ・同じ人が相談にのってくれるところ（他に同様の回答 1 件）
- ・イジメならイジメ、不登校なら不登校等の、相談を受ける側がそのような経験をして、それにもとづいた考えを持って接してくれる人がいる場所
- ・一方的に話を聞いてくれて、後日なんの連絡もないところ
- ・手紙で相談できるところ
- ・未成年だからといってバカにしない人がいるところ
- ・滑舌と耳のいい人がいるところ
- ・折り返しの電話のないところ
- ・悩んでいて重くなっている心を軽くしてくれるところ
- ・進路について相談できるところ
- ・相談に来た子を「かわいそうな子」と決めつけないところ など

【職員：学校・施設別】

職員に対し、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、どこに相談するかをたずねたところ、学校関係・施設関係ともに「児童相談所」が最も回答の割合が高かった。

図 6 6 Q 1 5 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、どこに相談しますか。

【職員：学校・施設別】

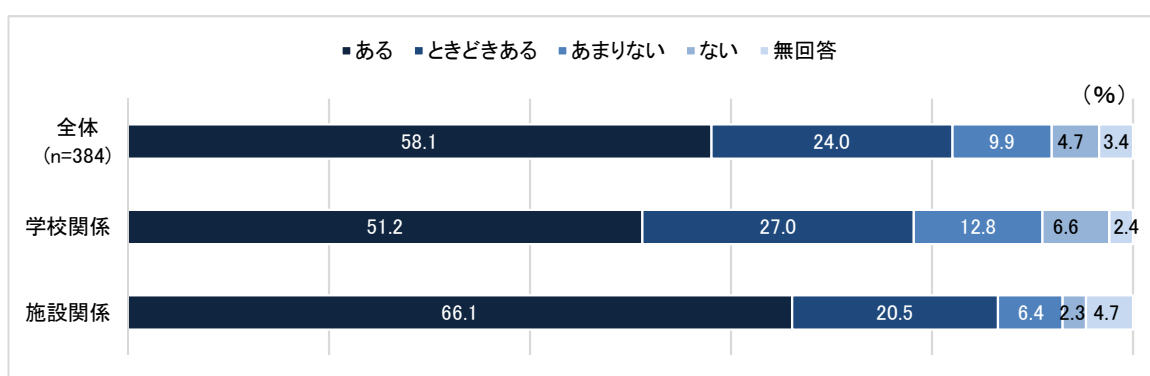


(4) 子どもへの支援

【職員：学校・施設別】

職員に対し、子どもを支援する際、関係機関（児童相談所、区役所など）と協働・連携して行うことがあるかをたずねたところ、職員全体で「ある」「ときどきある」を合わせた回答の割合は82.1%であった。学校・施設別では、学校関係で78.2%、施設関係で86.6%であった。

図67 Q29 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関（児童相談所、区役所など）と協働・連携して行うことがありますか。【職員：学校・施設別】



【職員：学校・施設別】

職員に対し、子どもを支援する際、地域の市民や活動団体（ボランティア、民生委員、民間の支援団体など）と協働・連携して行うことがあるかをたずねたところ、職員全体で「ある」「ときどきある」を合わせた回答の割合は68.3%であった。学校・施設別では、学校関係で61.6%、施設関係で76.6%であった。

図68 Q30 あなたの職場で子どもを支援する際、地域の市民や活動団体（ボランティア、民生委員、民間の支援団体など）と協働・連携して行うことがありますか。【職員：学校・施設別】

